

平成30年新年のごあいさつ



洞爺湖町議会議長

佐々木良一



洞爺湖町長

真屋敏春

明 けましておめでとうございます。
皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年は、大規模な台風の発生による記録的な大雨や暴風などの大きな災害が全国で発生しております。当町においても、天候不順や台風上陸などにより農業や漁業など各方面に被害がもたらされており、災害に強いまちづくりを目指していかねばなりません。

さて、洞爺湖温泉の観光については、海外のお客様も含め、観光客の増加により本年度は宿泊客数が70万人を超える見込みとなっております。

昨年4月には月浦にポロモイスタジアムが完成し、約1万3000人が利用されており、子どもたちの声や応援の声援などにぎわいを見せております。

また、洞爺地区に完成した定住促進住宅2棟16戸については、満室となっており、当町に明るい兆しが見えてまいりました。

第2期まちづくり総合計画が昨年よりスタートいたしました。人口減少社会を迎え、定住対策、子育て支援や働く場の確保などが大きなテーマであります。また少子高齢化が進む中で、皆様安心して暮らせる住み良いまちづくりに知恵をしばり、各界の力を合わせ、具体的な施策を行っていかねばなりません。

洞爺湖町議会も町民の皆様のご意見をいただきながら、理事者としてしっかり議論を深め、町民皆様の幸せのために、議員一同決意を新たに、議会活動に取り組んで参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

本年一年、皆様にとって、より良い年となりますようお祈り申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

明 けましておめでとうございます。
今年も町民の皆様にとって良い年でありますように、心からお祈り申し上げます。また日頃の行政へのご支援、ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

洞爺湖町誕生から11年が経過し、昨年4月より第2期のまちづくり総合計画(平成29年度から同38年度)の初年度となっております。実りある定住施策と交流人口の拡大や3地域の特性に合った振興策の充実を図りながら、一層の発展を目指す10年としていきたいと思っています。

財政状況については、財政健全化団体脱却後も厳しい状況が続いていますが、町民皆様のご協力もあり、道内市町村の平均に徐々に近づきつつあります。

町の主要産業の一つの観光では、訪日外国人観光客の増加の影響もあり、入込み数は、ここ3年間微増ではありますが、好調に推移しています。宿泊数も、平成28年度には69万9千人で、平成29年度末には70万人を超える見込みとなっております。また、旅行サイトで昨年の夏に外国人の写真投稿が多かったスポットとして、洞爺湖が第1位を獲得したように、日本の中でも魅力的な場所として、外国人観光客に支持されました。

「世界の洞爺湖」として素晴らしい景観や海と湖と火山が共存する稀有な地形から生み出される豊かな食材などを町の財産として内外にアピールし、人口減少の課題の解決と地域の創生に向けて、職員一丸となって努力してまいります。

皆様が、健やかで、明るい希望に満ちた1年となりますようご祈念し、年頭のごあいさつといたします。